

[インターンシップ無償型]実習プログラム

登録番号	129d
法人名	株式会社新日本海新聞社
現住所	東部 〒6808688 鳥取県鳥取市富安2丁目 1 3 7
電話番号	0857212888
FAX番号	0857212891
業種	情報通信業
実習プログラム名	地域密着の新聞社の業務と魅力を知ろう
実習のテーマ	
実習内容	（実習例） ○初 日：本社（鳥取市）で社の概要説明、印刷工場の見学、編集会議の見学、若手社員との交流会 ○2 日目：読者販売局読者センターで新聞の読み方講座のスタッフとして働く。 ○3 日目：P R 推進部で先輩社員の広告営業に同行。フリーペーパー「うさぎの耳」の取材体験 ○4 日目：ビジネス支援部でイベント開催の準備を手伝う。独自のイベント案を企画する ○5 日目：報道部で先輩記者の取材に同行（県警や知事会見など） 鳥取本社では系列社の日本海ケーブルネットワークの研修を組み入れます
実習業務	まちづくり
実習タイプ	現場での仕事体験, 若手社員等との座談会
実習タイプその他	
実習方法	対面で実施
求めている人材	・鳥取県や山陰、但馬地方が好きな人 ・地域の活性化に役立つ仕事をしたい人 ・人との出会いを大切にする人 ・好奇心が旺盛で、どんな仕事でも前向きに取り組める人
実習で学んで欲しいこと	新聞社は報道を通じて、地域住民が豊かで安心な暮らしをおくることができるよう有益な情報を発信する企業です。それだけではなく、地域情報を活かし、様々なイベントの開催や自治体・事業所をP Rする広告の仕事など、様々なアプローチで地域を活性化する企業です。
スケジュール	調整のうえ決定
実習先の所在地・名称	〒6808688 鳥取県鳥取市富安 2 丁目 1 3 7 番地 株式会社新日本海新聞社
最寄駅・バス停	JR鳥取駅から徒歩 5 分（鳥取本社）
受入人数	実習 1 回あたり、3 本社各 2 名までで調整（3 本社とは本社（鳥取）、中部本社（倉吉）、西部本社（米子）のこと。自宅・アパートから最も近い本社での研修となります）
希望受入対象	大学は 3 年生、短大は 1 年生が基本
留学生受入・受入条件	不可
必要な能力・資格・技術等	特にありません

実習期間・時間	8月上旬～9月下旬（実施日数 5日間） 7時間50分時間（休憩時間 50分） 実習日に土日祝を含む：含む場合がある 実習時間に早朝夜間を含む：含む場合がある 実習日によって実習時間が異なる可能性があります。 月曜日から金曜日までの平日5日間の研修が基本です。8月19日の週から、 県外学生は帰省先（実家）、県内学生は自宅あるいは現住所（アパート）から 最も近い新日本海新聞社（本社・鳥取市）、（中部本社・倉吉市）、（西部 本社・米子市）での研修となります。各本社2名までの定員で調整しますので、 申し込まれる際は希望される週を第3希望まで明記してください。
服装規定	あり（上下スーツがふさわしい（9月末まではクールビズ））
賃金	なし
旅費・宿泊費等の補助	なし
選考方法	企業側で選考（地元就職希望者かマスコミ就職希望者。「自分探し」など志望 動機が曖昧な場合はお断りする場合があります）
学生へのひとことコメント	新聞社の業務は報道だけではなく、広告営業やイベント企画運営、新聞販売PR などの業務があり各部署を体験してもらいます
その他補足事項	

インターンシップ特記事項

プログラムの趣旨（目的）	当社でのインターンシップ研修は、学生たちが学んだ知識やスキルを実務で試 す貴重な機会となります。また、我々にとっても新たな視点やアイデアを得る ことができ、若手人材の発掘や育成方法の向上にもつながります。学生自身に とっては実践的な経験を積むことで、将来のキャリア選択や自己成長に大きく 役立ちます。当社は地方紙として「地域の活性化」を旗印にしており、地域貢 献に熱意のある学生を積極的に受け入れ、このインターンシップを学生との貴 重な出会いの場として位置付けています。
学生情報の活用	インターンシップに参加した学生の情報を、広報活動や採用活動に活用する
学生情報の活用内容	新卒入社試験時に参考資料として「エントリーシート」と「フィードバックシ ート」を利用
当該年度のインターンシ ップ実施計画	（夏季インターン） ■実施時期：2025年8月上旬から10月上旬 ■内容：5日間（職場体験中心）、総勢10人程度 （春季インターン） ■実施時期：2026年1月下旬から3月下旬 ■内容：5日間（職場体験中心）、総勢10人程度
インターンシップ実施に係 る実績概要	■2023年春（2/27～3/10まで、延べ5人参加） ■2023年秋（9/4～29まで、延べ3人参加） ■2024年春（2/26～3/8まで、延べ2人参加） ■2025年春（3/24～28まで1人参加）
採用選考活動等の実績概要	■2022年秋プログラム参加者から1人を本採用 ■2023年春プログラム参加者から2人を本採用 ■2024年春プログラム参加者から2人を本採用